

二級建築士試験／木造建築士試験 指定科目に該当する開講科目一覧

1/2

学校種別: 大学	学校課程コード: 0111-112-150
所在地都道府県: 北海道	審査受付番号: 171034
学校名 課程名: 北海道大学 工学部 環境社会工学科 建築都市コース	
対象入学年: 令和4年度(2022年度) 修業年限: 4年	新規申請の認定通知日: 2016/12/28
必要な実務経験年数 試験時:最短0年 登録時:最短0年	変更申請の認定通知日: 2022/12/23

指定科目の分類	開講科目	履修学年	単位数
①建築設計製図	計画・設計演習Ⅰ	2年	3
①建築設計製図	計画・設計演習Ⅱ	3年	3
①建築設計製図	計画・設計演習Ⅲ	3年	3
①建築設計製図	建築都市計画演習	4年	2
小計			11
②建築計画③建築環境工学④建築設備	建築計画Ⅰ	2年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	建築史通論	2年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	都市計画	3年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	建築計画Ⅱ	3年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	近代建築史	2年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	計画設計論Ⅰ	2年	1
②建築計画③建築環境工学④建築設備	計画設計論Ⅱ	3年	1
②建築計画③建築環境工学④建築設備	コミュニティデザイン	3年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	建築環境論	2年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	建築環境論演習	3年	1
②建築計画③建築環境工学④建築設備	建築環境・設備計画	3年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	環境と設備の演習	3年	1
小計			20
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	構造力学Ⅰ	2年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	構造力学Ⅱ	2年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	構造力学Ⅲ	3年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	建築構造動力学	3年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	構造解析	4年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	土質力学Ⅰ	3年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	各種構造Ⅰ	3年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	各種構造Ⅱ	3年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	建築構造設計演習	3年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	建設材料	2年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	建築材料演習	3年	2
小計			22
⑧建築生産	建築生産	3年	2
⑧建築生産	建築施工	3年	2
⑧建築生産	コンストラクションマネジメント	4年	2
小計			6
⑨建築法規	建築都市法規	3年	2
小計			2
⑩複合関連科目	図形科学	2年	2
⑩複合関連科目	建築序説	2年	2
⑩複合関連科目	防災計画論	3年	2
⑩複合関連科目	地震工学	3年	2
⑩複合関連科目	計画・設計基礎演習	2年	2
⑩複合関連科目	制振・免震構造と耐震改修	2年	2
小計			12

学校種別: **大学**

学校課程コード: **0111-112-150**

所在地都道府県: **北海道**

審査受付番号: **171034**

学校名 課程名: **北海道大学 工学部 環境社会工学科 建築都市コース**

対象入学年: **令和4年度(2022年度)** 修業年限: **4年**

新規申請の認定通知日: **2016/12/28**

必要な実務経験年数 **試験時:最短0年 登録時:最短0年**

変更申請の認定通知日: **2022/12/23**

指定科目の分類	開講科目	履修学年	単位数
		①～⑨計	61
		①～⑩計	73

指定科目の分類別必要単位数(試験時・登録時)

① 3単位以上 ②③④ 2単位以上 ⑤⑥⑦ 3単位以上 ⑧ 1単位以上 ⑨ 1単位以上

修得単位数に応じた必要実務経験年数(試験時・登録時)の詳細は「二級建築士・木造建築士の受験・免許登録時の必要単位数(学校種類別)」を参照ください(例:上記、分類別必要単位数を満たし、かつ、①～⑩計40単位以上修得の場合、試験時:0年 登録時:0年となる)。